

第18回レファレンス協同データベース事業フォーラム

「レファ協で出会う専門図書館—そのディープな魅力に迫る—」

# 印刷博物館 ライブラリーのレファレンスと レファレンス協同データベース事例ご紹介

～ ディープ？ ニッチ？ 日常にある“印刷”のためのライブラリーの事例から～

2023年3月22日 凸版印刷株式会社 印刷博物館 阿部麻里

# 目次

---

1. 凸版印刷株式会社 印刷博物館のご紹介
2. 印刷博物館 ライブラリーのご紹介
3. 印刷博物館 ライブラリーのレファレンス  
～レファレンス対応とレファ協への登録について～
4. おすすめ登録データ紹介
5. おわりに～まとめと所感～

# 1. 凸版印刷(株) 印刷博物館のご紹介

- 所在地:東京都文京区水道1 - 3 - 3 トッパン小石川本社ビル
- 印刷そのものの歴史や社会的な役割、技術などをひろく一般に紹介することを目的に2000年10月開館。
- 2020年10月にリニューアルを実施。
- 凸版印刷が運営している“企業博物館”
- 学芸員8名、司書2名 その他スタッフ



# 印刷博物館 施設紹介

## 地下1階 有料スペース 展示室

### 【プロローグ】



### 【展示室(常設展示 印刷の日本史)】





# 印刷博物館 施設紹介

## 地下1階 有料スペース 展示室

【展示室(常設展示 印刷の世界史)】



【展示室(常設展示 印刷×技術)】



# 印刷博物館 施設紹介

## 地下1階 有料スペース 印刷工房

【印刷工房】



【欧文書体アーカイブ】



# 印刷博物館 施設紹介

## 1階 無料スペース

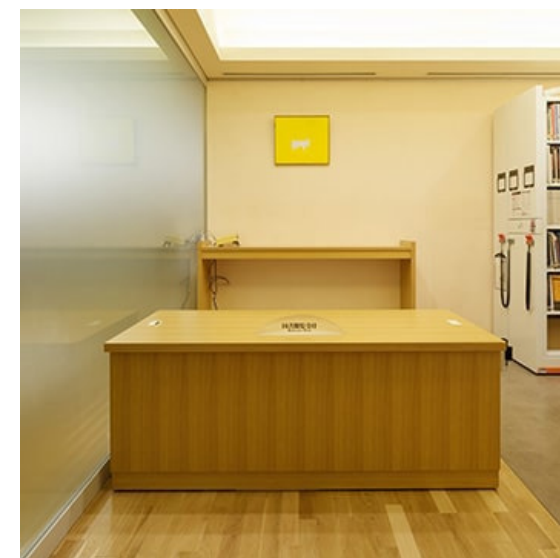
【ミュージアムショップ】



【P&Pギャラリー】



【ライブラリー】





## 2. 印刷博物館 ライブラリーについて

### 2.1 概要

- 印刷博物館の一施設として、印刷と関連する分野の資料を収集・保存し利用者へ提供する役割を担う( 印刷の**専門図書館**)
- 博物館のライブラリーとして、収蔵品や印刷史資料に関連する資料の収集を担う( 博物館の図書室、**ミュージアムライブラリー**)
- 利用者層は博物館来館者となり未就学児から大人まで
- ライブラリーを主目的とする層は学生・研究者層が多い。その層も印刷のみにとどまらず、文字・書体、デザインなどの美術関係や、出版史、書誌学関係など多岐に渡る。

## 2.2 ライブラリーのサービス

- 一般公開型、利用は無料
- 資料閲覧 (館外貸し出しは実施していない)
- 複写 (著作権法31条外の施設のため、制限があり)
- レファレンスサービス
- 閉架式書庫
- インターネット上で[OPAC](#)を一般公開
  - 詳細な目次入力によってデータ上のブラウジングを可能とする

\* ライブラリーの詳細は[こちら](#)をご参照下さい



## 2.3 ライブラリーの所蔵資料について

- 印刷とその関連分野を中心に、和洋図書雑誌約7万冊の資料を所蔵。
- 具体的な収集分野は印刷全般、出版、広告、文字、活字アート&デザイン、版画、インキ、紙、製本、書誌学、印刷物関連、展示資料関連、社史・団体史など。
- 印刷の専門図書館ならではの資料としては、業界雑誌、業界新聞、業界関連団体発行物、印刷見本帖類など

## 2.4 所蔵資料詳細

### ● 図書(和書・洋書)

- 専門書
- 社史
- 図録(他館)

### ● 逐次刊行物

- 印刷の専門雑誌  
(和雑誌・洋雑誌)
- 業界新聞
- 関連分野雑誌  
(出版・広告...)

### ● その他 = 印刷史資料

- 印刷会社発行物  
(カタログ類)
- 見本帖  
(印刷見本・書体見本)

## 余談) 当館の資料収集分野 ~ 日常生活の中の印刷 ~

- ポスター、広告 = 印刷物(グラフィックデザイン)
- 食品パッケージ = 包装パッケージ
- ICカード、カード類
- 壁紙や床材 = 建装材
- 文字、書体デザイン

などなど

駅名標 有楽町線飯田橋駅



## 2.5 資料紹介

### < 印刷見本帖類 >

『活版略見本』(1933年凸版印刷)



### < 逐次刊行物 >

『東京印刷同業組合時報』  
第10号





## 2.6 閉架式書庫の内部





# 3. 印刷博物館 ライブラリーのレファレンス

## 3.1 レファレンスの受付について

レファレンスの申込ルートは2種類

- 内部(スタッフ)から

- 学芸員、印刷工房スタッフなど

- 外部から

- 来館受付、メール、電話やFAX

ライブラリーが直接対応

- 博物館宛にきた問い合わせ、質問

基本的には学芸員が回答、ライブラリーが補佐

レファレンス申込書 (太枠の中をご記入ください)	
年 月 日 :	
<small>申込者氏名・連絡先 *お忘れ物や、資料のお知らせなど、後日のご連絡以外の目的には使用いたしません。</small>	
調査内容	
<small>備考・参考(既にご覧になった本や訪れた図書館などがございましたらお知らせください。)</small>	
調査結果	
<small>来館・電話・FAX・E-mail・その他</small>	
<small>担当者:</small>	

## 3.2 レファレンス協同データベースへの参加

- レファレンス記録は紙媒体での蓄積

- スタッフ間の情報共有化に課題

- 検索機能などなし

過去のレファレンスのデータベースとしての活用

- 外部へのPR

ライブラリーの広報ツール

### 3.3 レファ協公開までの流れ～

- レファ協担当：司書1名 + 入力補助スタッフで対応

#### 1. 紙のレファレンス申込書等一式をファイルメーカーへ入力

司書以外も入力するため、ファイルメーカーの入力項目を

【質問】【事前調査事項】【回答】【回答プロセス】

【参考資料】【照会先】【備考】【質問者区分】に絞る

#### 2. 月末に新規入力分をレファ協へアップロード(非公開)

ファイルメーカーからCSVで吐き出し→アップロード

### 3.3 レファ協公開までの流れ～

3. レファ協上で司書がアップロード済みの情報以外の入力や  
遡及調査を実施

4. 確認、精査の後に一般公開へ

紙の資料一式から必要最低限の情報を前もって入力して  
もらうことで司書の負担軽減を図る

**専門図書館は少人数で運営していることが多いため、  
レファ協一本に注力ということは難しい...**

## 4. おすすめ登録データ紹介

1. どうしてこの辺り(印刷博物館 所在地)は印刷業が盛んなのか
2. 片仮名の「へ」と、平仮名の「へ」は一体何が違うのか知りたい
3. 本(絵本)のカバーはなんでついでてるの？



# どうしてこの辺り(印刷博物館 所在地)は 印刷業が盛んなのか

事例作成日 (Creation date)	2018年5月3日	登録日時 (Registration date)	2021年03月02日 00時30分	更新日時 (Last update)	2021年03月23日 17時06分
公開レベル (Access level)	一般公開				
質問 (Question)	どうしてこの辺り(印刷博物館 所在地周辺 文京区)は印刷業がさかんなのか?				
回答 (Answer)	以下の資料を提供 ・斑目文雄『東京都の地理(日本地理集成;第5巻)』(光文館、1965年) ・印刷博物館、川井昌太郎編集『印刷都市東京と近代日本』(印刷博物館、2012年) ・文京区役所 編『文京区史 巻3』(文京区役所、1981年) ・文京区教育委員会 編『わがまち文京:文京ふるさと学習副読本』(文京区教育委員会、2016年)				

[https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref\\_view&id=1000294563](https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000294563)

# どうしてこの辺り(印刷博物館 所在地)は 印刷業が盛んなのか

事例作成日 (Creation date)	2001年5月15日	登録日時 (Registration date)	2013年06月12日 10時54分	更新日時 (Last update)	2021年01月10日 00時30分
公開レベル (Access level)	一般公開				
質問 (Question)	なぜこのあたり(神田川周辺)には、印刷工場などが多いのか？				
回答 (Answer)	<p>斑目文雄『東京都の地理(日本地理集成V)』(光文館 1965年)に</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・千代田区・文京区・新宿区には昔から官庁や学校(昌平坂学問所)などが多い。</li><li>・神田川(昔は江戸川とも言った)のきれいで豊富な水を利用して、江戸時代から紙作りが盛んであった。</li></ul> <p>機械で作る紙もたくさん水を必要とする。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・川は道路の代わりに物を運ぶのに利用されていて、倉庫も川のそばにあった。つまり、交通の便が良かった。</li></ul> <p>というような事が書かれていることを紹介。</p> <p>また、文京ふるさと歴史館も紹介。</p>				

[https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref\\_view&id=1000132382](https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000132382)

文字サイズ **拡大** 標準 縮小 色合い 標準 **青** 黄 黒 音声読み上げ

Multilingual > English > 中文簡体 > 中文繁體 > 한글

サイト内検索 Google 提供 検索

みどころ満載!!  
文京の観光案内  
はこちら

ホーム 手続き・くらし 施設案内 子育て・教育 文化・観光スポーツ 保健・福祉 防災・まちづくり環境 産業振興協働 区政情報

ホーム>区政情報>文京区の紹介>3分で分かる「文の京」>文京区の地場産業

いいね! ツイート

**3分で分かる「文の京」**

- > [文京区政概要](#)
- > [文京区の位置と地形](#)
- > [文京区のおいたち](#)
- > [文京区の紋章、木、花](#)
- > [文京区歌](#)

**文京区の地場産業**

更新日 2015年04月21日

**区内の産業**

印刷・製本業は文京区を代表する産業で、大手印刷会社から中小の印刷・製本関連の事業所まで軒を連ねています。文京区内製造業出荷額の約7割は、印刷・製本関連業種が占めています。また、文京区本郷は、東京大学医学部が開設された明治時代から医療関連産業のメッカとしても知られ、メディカルタウンとして有名です。

文京区HP 文京区の地場産業 より <https://www.city.bunkyo.lg.jp/kusejoho/profile/three-minutes/industrials.html>

## どうしてこの辺り(印刷博物館 所在地)は 印刷業が盛んなのか

2例以外にも・・・

- [PML20101027-01 文京区の印刷業の歴史](#)
- [PML20170717-01 文京区で印刷業が盛んな理由など](#)
- [PML20170907-01 文京区の印刷文化について](#)
- ほか、非公開にもいくつか

土地柄、企業ならではの質問であるとともに、明確な回答がなく  
当ライブラリーとしては、一番聞かれるが答えにくいレファレンス



# 片仮名の「へ」と、平仮名の「へ」は 一体何が違うのか知りたい





# 片仮名の「へ」と、平仮名の「へ」は 一体何が違うのか知りたい

事例作成日 (Creation date)	2003年5月27日	登録日時 (Registration date)	2013年09月20日 12時05分	更新日時 (Last update)	2021年01月15日 12時16分
公開レベル (Access level)	一般公開				
質問 (Question)	片仮名の「へ」と、平仮名の「へ」は一体何が違うのか知りたい。				

文献資料以外も出せるモノがあるのが当館の強み！

### 回答欄のひとつ

余談ですが、当博物館「印刷の家」のベテラン活版職人の一人に、「へ」の活字が一つ転がっていたら、片仮名か平仮名か区別がつかますか？と尋ねたところ、あまり小さいとわかりにくいけれど、8ポイント以上の大きさなら、角度とか長さとか色々微妙に違うのでわかる、とのことでした。

[https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref\\_view&id=1000137387](https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000137387)

# 本のカバーはなんでついでるの？

事例作成日 (Creation date)	2014年8月22日	登録日時 (Registration date)	2014年08月23日 13時05分	更新日時 (Last update)	2022年08月28日 12時26分
公開レベル (Access level)	一般公開				
質問 (Question)	本のカバー（ジャケット）について 絵本にカバーはなんでついでるの？				

回答プロセス (Answering process)	自由研究のテーマとしてのレファレンス。 質問者は「色の退色を防止するためではないか」、と考え、事前に学芸員に質問。 学芸員からは、ポスター用など、退色しにくいインキもあると思う、との説明もしたとのこと。  退色以外の劣化原因も含めたカバーの理由と併せて、色の退色の原因などの簡単な説明もした。				
-------------------------------	--	--	--	--	--

[https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref\\_view&id=1000158781](https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000158781)

# 本のカバーはなんでついているの？

○カバーは何でついているのか？

・藤本朝巳『絵本のしくみを考える』（日本エディタースクール出版部 2007年）

p.176「ジャケットと折り返し」

「人間の身体であれば、身に付けている衣類や帽子や靴下、また装飾品のようなものです。あるいは、顔の表面を飾る化粧のようなものです。

これらは身体そのものではありませんが、身体を守り、飾り、人を引き立て、他人にアピールしているものです。

絵本の場合も絵本の外部が本体そのものの存在を引き立て、読者にアピールしているのです

→これらの記述から、当館のカバー付き図録を使って説明

・『書店員・図書館司書・翻訳家・装丁家（職場体験完全ガイド37:本にかかわる仕事）』（ポプラ社 2014年）

p.38「装丁家は、本のどこをデザインするの？」

カバー：表紙にかぶせる紙で、「本の顔」ともいえる部分です。めだつデザインを考えます。

○色の退色について

参考までに、当館所蔵の、同一本で違う環境に置いた場合の退色比較参考事例を提供

<http://www.printing-museum.org/blog/?p=7895>（2022年8月現在リンク切れ 当館ブログの記事）

【2022年追記】

当館図録において、退色の実例を関連ファイルにアップロードを実施。下記を参照。

## 【退色の例】



# 本のカバーはなんでついでなの？

回答  
(Answer)

また、小学校低学年には難しいと考えて、直接提供はしなかったが、  
紀田順一郎監修『新版 本の情報事典』（出版ニュース社 1991年）

p.320 「酸性紙問題」に、「紙の劣化は、保存環境、即ち、場所、温度、湿度、光、大気汚染などにも影響されるが（中略）」の記述あり、

本人が予想した退色以外にも本を傷める原因はいくつかあり、カバーによって保護できることを伝える。

実際の説明としては、本を人間の体に、カバーを洋服に例えて説明をした。

・長いズボンを穿いてると、転んで膝を打った時も、ズボンがあるから擦り傷にならない。傷になるのを防いでくれる

→本におけるカバーも同じで、本に少々水がかかったりしても、本体が傷まないようにカバーが守ってくれる、等

利用者層は幅広い  
どんどん利用して欲しい！

## 5. おわりに～まとめと所感～

---

- 認知度が高くはない当ライブラリーにおいて、**レファレンス協同データベースは情報発信の強力なツール。**
- 認知されるきっかけにもなる(知ってもらふことの重要性)
- 他館のレファ協事例が参考になる事例も: 参考文献など
- 続けるには努力と妥協が必要。どこまで頑張るかが課題。
- 「利用したい」、「利用して欲しい」...そんな思いの繋ぎ手がレファ協であって欲しい。



ご清聴ありがとうございました



印刷博物館  
PRINTING MUSEUM, TOKYO

HP関係リンク

印刷博物館 [ライブラリー蔵書検索](#)

印刷博物館 [ホームページ\(PC\)](#)

印刷博物館 [ホームページ\(モバイルQRコード\)](#)

